

月次シフトレポート

対象期間: 2026年6月分(ひだまり苑・28名)

作成者: 下平隆太郎(KUMU・AI事業)

> このレポートは、シフトの結果に加えて、**今月どなたが負担を担われたか・来月どなたを気かけるとよいか**までを診断してお届けするものです。数字を見るためではなく、**日々の声かけと配置のご判断**にお使いいただくための一枚です。

本レポートはサンプルです。施設名・職員ID・数値はすべて架空のものです。実際の納品レポートは、貴施設のデータに基づき毎月この形式で作成します(職員は匿名IDで管理し、実名は施設内でのみ照合します)。

今月の総評

シフト作成は**順調**でした。希望休・希望シフトは提出262件中260件を確保(充足率99.2%)。連勤違反など体に直接負担をかける項目は**すべて0件**です。

特別なケアをお願いしたい職員は**2名**です(下記)。

公平性ダッシュボード(KUMU独自指標)

指標	今月	見方
希望休・希望シフトの充足率	99.2% (260/262件)	職員の「報酬」の土台。最優先で確保
不公平感スコア(施設合計)	91 (前月=100)	低いほど良い。KUMUはこの最小化を毎月探索
負担の偏り(最大者÷施設平均)	1.8倍	1.0倍に近いほど均等
月またぎ連勤の上限超え	0件	月の境目に隠れる連勤も監視

不公平感スコアとは: 職員ごとに「シフトの負担(夜勤・連勤・日祝出勤など)」から「報酬(希望休が通った等)」を差し引いた値を全員分合計したものです。

来月、優先的に対応していただきたい職員

K012さん — 要対応

- 今月の負担蓄積が施設内で高い水準です(不公平感スコア 342)
- 主な要因: 夜勤8回、日祝出勤3回

- **推奨アクション:** ①本人への声かけ(負担が高かった事実を直接承認する) ②来月の希望提出の後押し(追加希望「休？」も使える旨の案内) ③夜勤・応援の意向の聞き取り
- 所見: 夜勤の担い手が一時的に不足し、ご本人の了承のもと夜勤が集中しました。7月案では夜勤を6回に抑え、日曜の休みを1回多く確保しています。面談での労いの一言をお願いします。
- ※K012さんの今月の負担超過分は**KUMUの台帳に記録済み**で、来月のシフト計算では希望休の確保と負担軽減が自動的に優先されます

K005さん 一 要観察

- 今月の負担蓄積が施設内で高い水準です(不公平感スコア 268)
- 主な要因: 日祝出勤2回、最大5連勤
- **推奨アクション:** ①本人への声かけ ②来月の希望提出の後押し ③連勤の感じ方の聞き取り
- 所見: 5連勤は希望休の重なりによる一時的なものです。7月案では4連勤までに収まっています。
- ※K005さんの今月の負担超過分は**KUMUの台帳に記録済み**で、来月のシフト計算で負担軽減が計算上反映されます

今月の貢献度(感謝スコア)上位

感謝スコアは、夜勤・応援・日祝出勤・連勤などを**引き受けた事実**を積み上げた貢献の記録です(不公平感スコアとは別軸の「感謝の領収書」)。昇給・賞与・表彰の客観的な参考資料としてご活用ください。

職員ID	部署	感謝スコア	主な内訳
K012さん	2階フロア	870	夜勤8回、日祝出勤3回
K021さん	1階フロア	640	応援2回、日祝出勤1回
K003さん	2階フロア	615	夜勤6回、日祝出勤1回
K017さん	デイサービス	590	応援2回
K008さん	1階フロア	545	夜勤5回、日祝出勤2回

※夜勤や応援の機会は部署によって異なるため、**部署内での比較**が最も公平です。

全体の傾向

項目	状況
連勤違反(個人上限超え)	0件(良好)
5連勤の発生	3名(個人上限内なら問題なし)
希望が通らなかった件数	2件(下記詳細)

希望が通らなかった日の詳細(代替の配慮にご活用ください):

- K009さん 2026-06-14: 希望「有」→配置「日」(同日の休み希望が4名重複したため。翌週に有給を確保済み)
- K015さん 2026-06-21: 希望「遅」→配置「休」(必要人数の都合。本人希望の休日数は確保)

適正人員の概算(常勤換算)

現場が必要とする人数(必要人数の最小合計)と、職員が提供できる人数を比べ、部署ごとの過不足を**常勤換算**で概算したものです。部署をまたぐ**応援**も加味しています。増員・採用計画や勤務指定の見直しなど、**経営判断の参考値**としてご活用ください。

部署	在籍	需要人日	自部署供給	純応援	実効供給	過不足(常勤換算)	判定
1階フロア	9名	180	189	-8	181	+0.05人	● ギリギリ適正(急な欠勤の吸収余地が薄い)
2階フロア	9名	192	186	+8	194	+0.10人	● ギリギリ適正(急な欠勤の吸収余地が薄い)
デイサービス	7名	140	147	0	147	+0.30人	● ギリギリ適正(急な欠勤の吸収余地が薄い)
厨房	3名	63	65	0	65	+0.10人	● ギリギリ適正(急な欠勤の吸収余地が薄い)

※需要人日=必要人数(最小)の月間合計。役割別の内訳要件(看護師1名等)は総数に含まれるため二重には数えません。

※自部署供給=主所属の各職員の「日数-契約公休-有給上限」の合計。

※純応援=他部署からの受入-他部署への送出(人日)。**実効供給=自部署供給+純応援**で過不足を判定しています。

所見: 今月のシフトは全部署で充足しています。ただし**2階フロアは自部署の人員だけでは約0.3人分足りず、1階フロアからの応援(8人日)で埋めている状態**です。K012さんへの夜勤集中(8回)は、この2階フロアの構造的な薄さが背景にあります。1階フロアにはまだ余力がありますが応援に出している分で相殺されており、施設全体では人員に余裕が大きいわけではありません。2階フロアにパート1名を増員すると、応援への依存とK012さんの負担集中を同時に和らげられます。

来月のアクション

1. K012さんへの声かけと、来月の希望提出の後押し(負担超過分は翌月の配置で優先的に補正されます)
2. K005さんへの声かけと、来月の希望提出の後押し(負担超過分は翌月の配置で優先的に補正されます)

3. 7月は祝日がないため、日曜出勤の偏りをKUMU側で重点監視します。その他は現状維持で問題ありません。

このシフトはどう作られているか(透明性のご説明)

KUMUは貴施設の優先順位の**順番どおり**に最適化します(辞書式最適化)。

1. 法令・安全・人員基準(絶対に崩さない)
2. 希望休の確保
3. 連勤・夜勤など体の負担ルール
4. 負担の偏り(不公平感)の最小化
5. その他の細かな運用ルール

上位の項目を犠牲にして下位を改善することは**仕組み上できません**。また、各職員の負担と報酬の記録は月をまたいで蓄積され、**今月無理をした人は来月自動的に守られます**。

次月レポート発行予定: 2026年7月28日

ご質問・ご相談: info@kumu-ai.jp